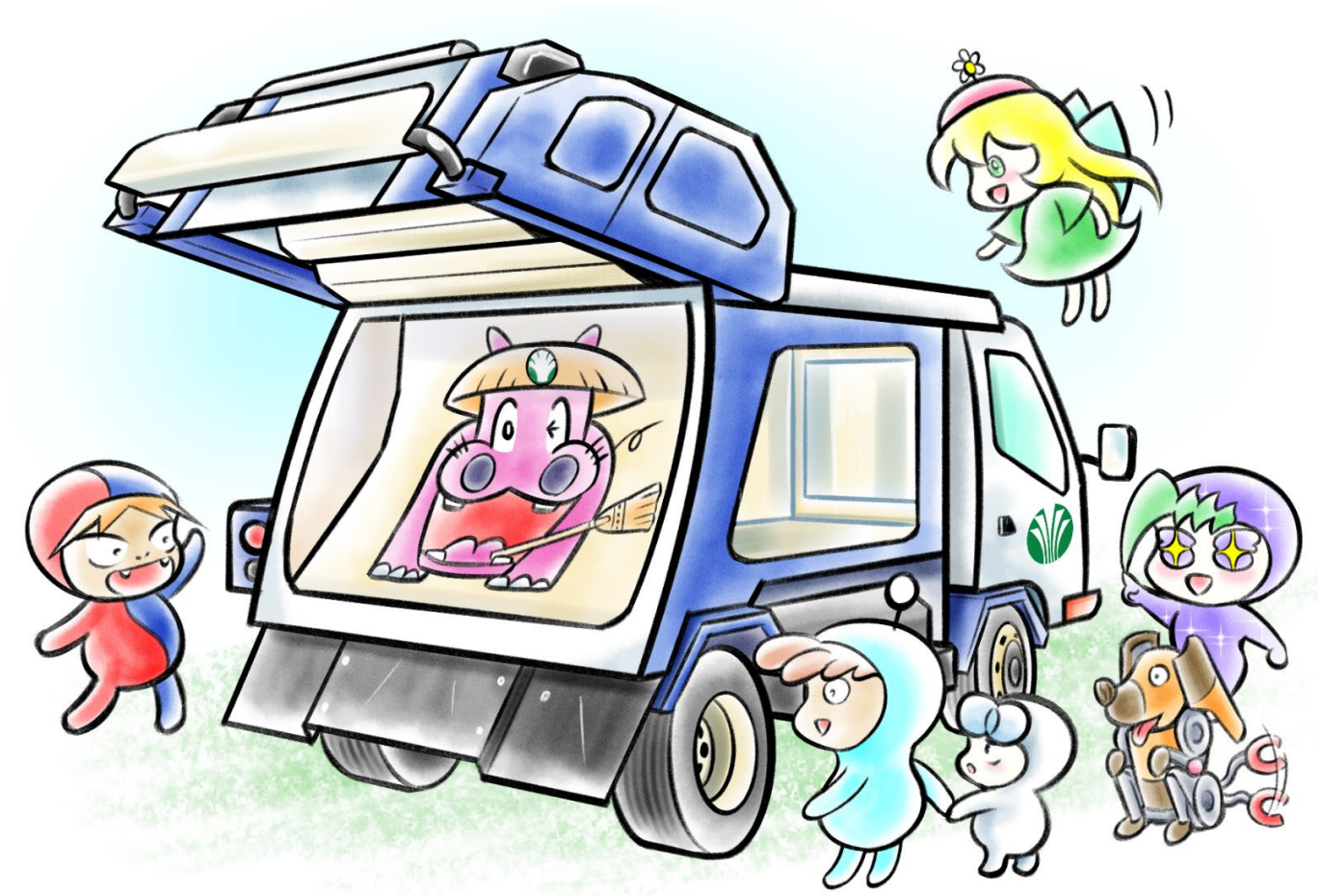
杉並区　ごみ･資源のデータ集



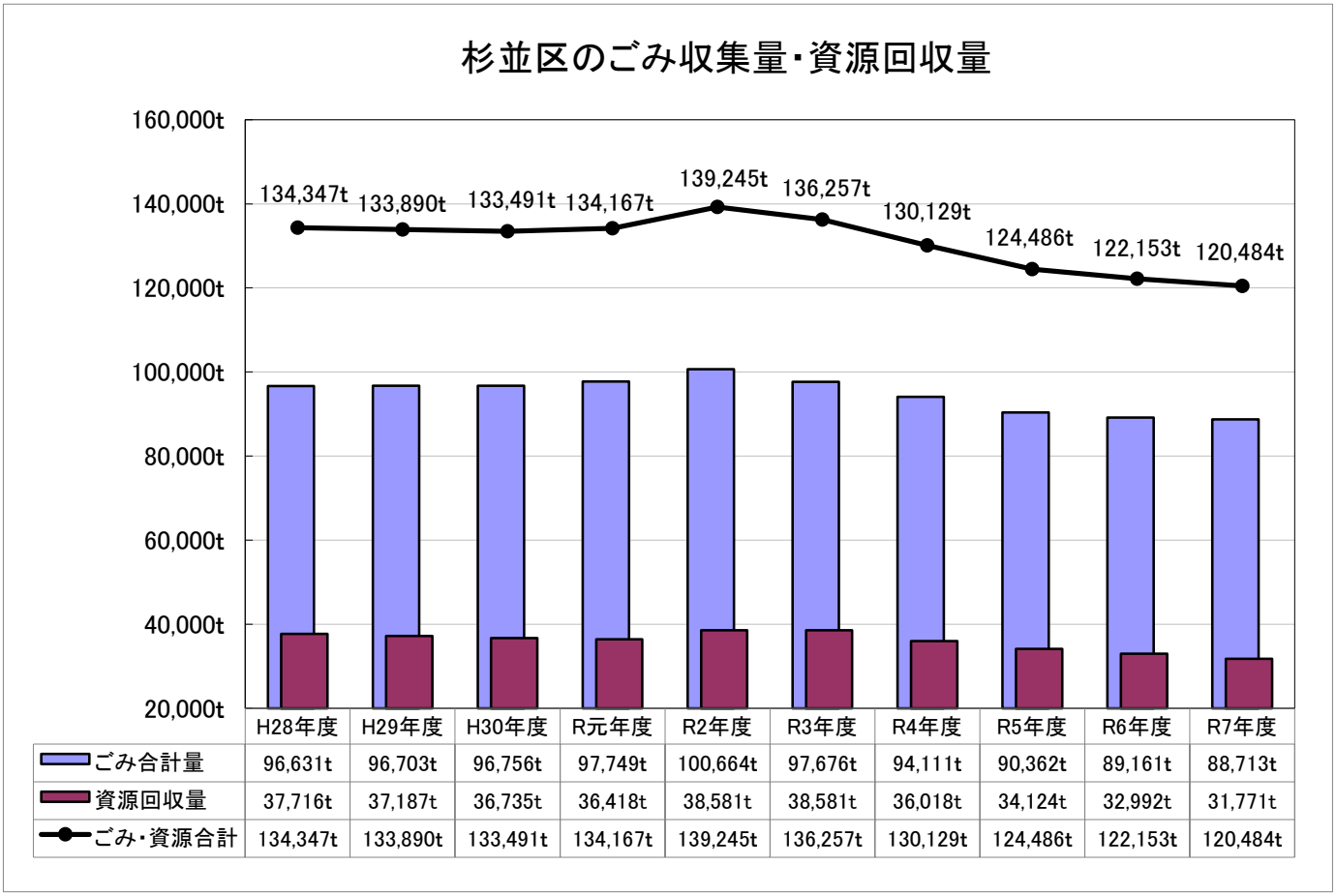
令和8年(2026年)10月

杉並区　環境部　ごみ減量対策課

目次

1　ごみ収集量・資源回収量実績＜年間＞・・・

1. ごみ収集量・資源回収量実績＜年間＞



	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
ごみ合計量	96,631t	96,703t	96,756t	97,749t	100,664t	97,676t	94,111t	90,362t	89,161t	88,713t
資源回収量	37,716t	37,187t	36,735t	36,418t	38,581t	38,581t	36,018t	34,124t	32,992t	31,771t
ごみ・資源合計	134,347t	133,890t	133,491t	134,167t	139,245t	136,257t	130,129t	124,486t	122,153t	120,484t

	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	ごみ合計量	資源回収量	ごみ・資源合計	資源回収率
H28年度	90,018t	3,054t	3,559t	96,631t	37,716t	134,347t	28.1%
H29年度	90,268t	2,829t	3,606t	96,703t	37,187t	133,890t	27.8%
H30年度	90,429t	2,752t	3,575t	96,756t	36,735t	133,491t	27.5%
R元年度	91,258t	2,752t	3,739t	97,749t	36,418t	134,167t	27.1%
R2年度	93,836t	3,055t	3,773t	100,664t	38,581t	139,245t	27.7%
R3年度	91,103t	2,759t	3,814t	97,676t	38,581t	136,257t	28.3%
R4年度	87,860t	2,590t	3,661t	94,111t	36,018t	130,129t	27.7%
R5年度	84,350t	2,411t	3,601t	90,362t	34,124t	124,486t	27.4%
R6年度	83,449t	2,212t	3,500t	89,161t	32,992t	122,153t	27.0%
R7年度	82,823t	2,254t	3,636t	88,713t	31,771t	120,484t	26.4%

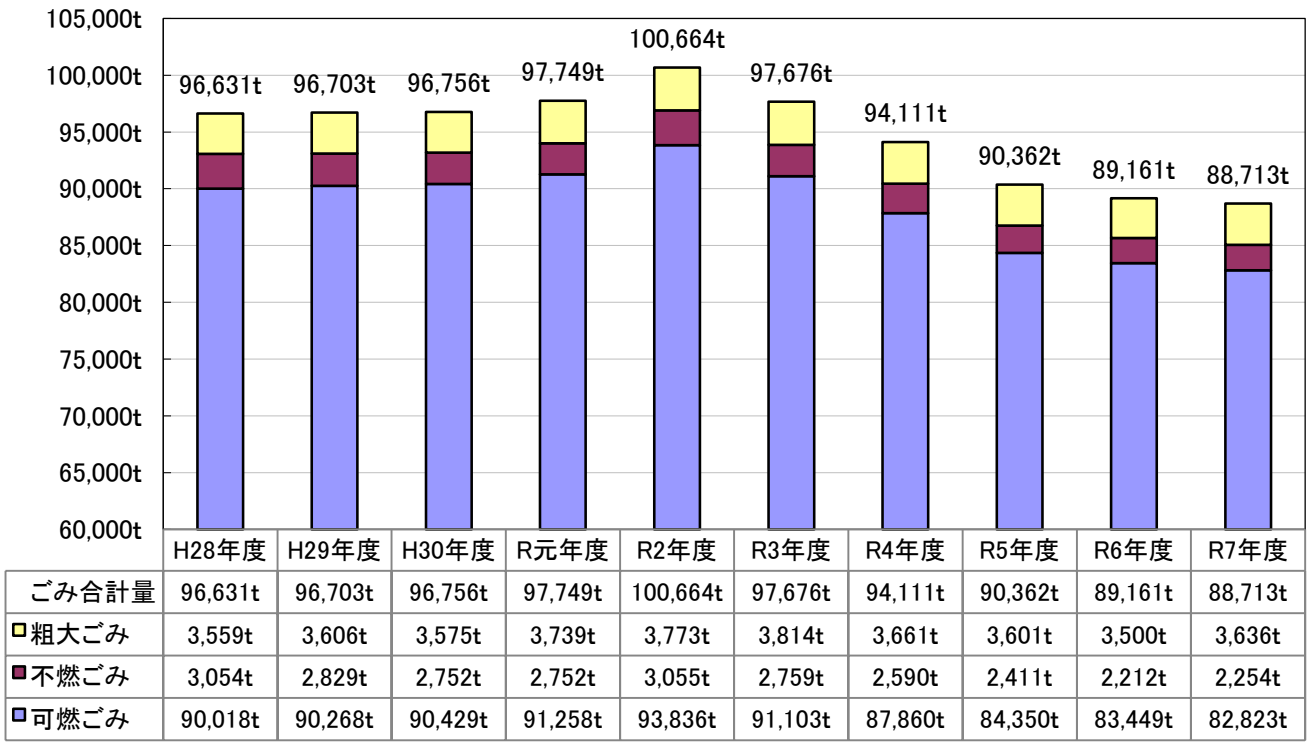
※ 端数処理のため合計があわない場合がある。　※ 資源回収率=資源回収量÷ごみ・資源合計×100%

※ 各合計値は各数量の和を四捨五入して算定している。

※ 上記資源回収量は、集積所回収・拠点回収・ピックアップ回収・集団回収の合計。

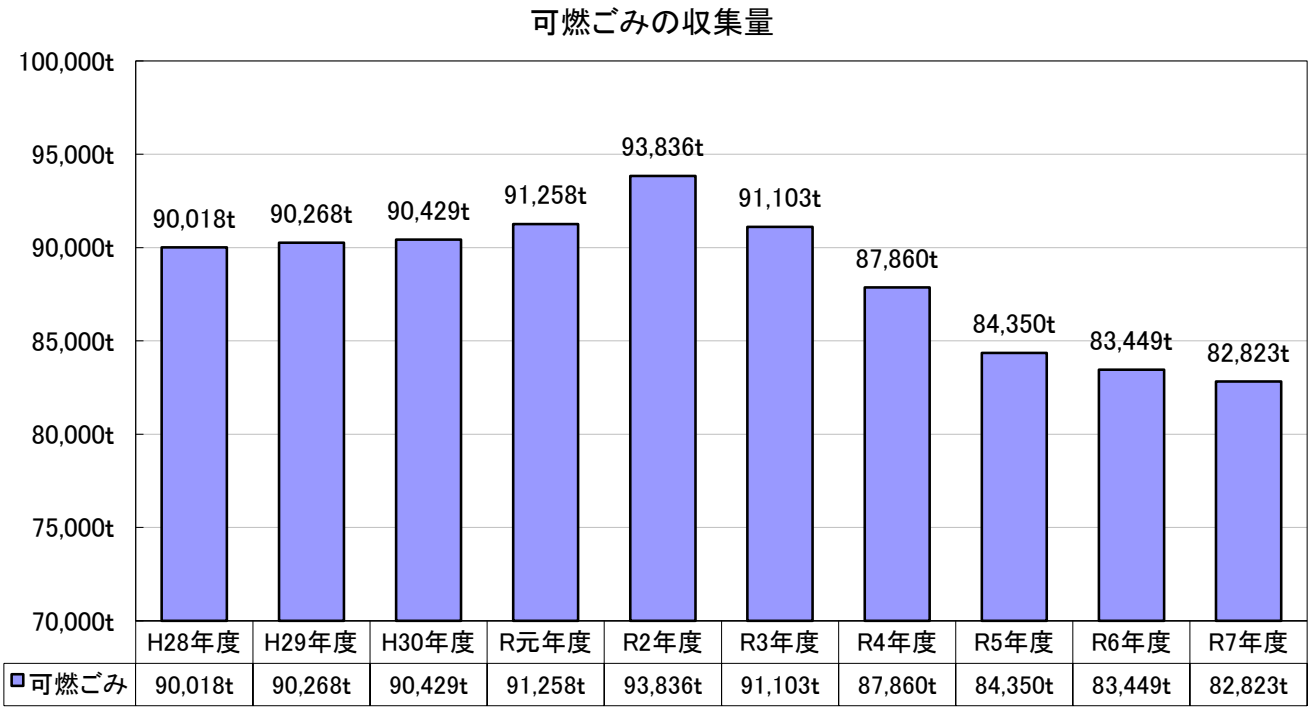
2. ごみ収集量実績＜年間＞

ごみ(可燃・不燃・粗大)収集量



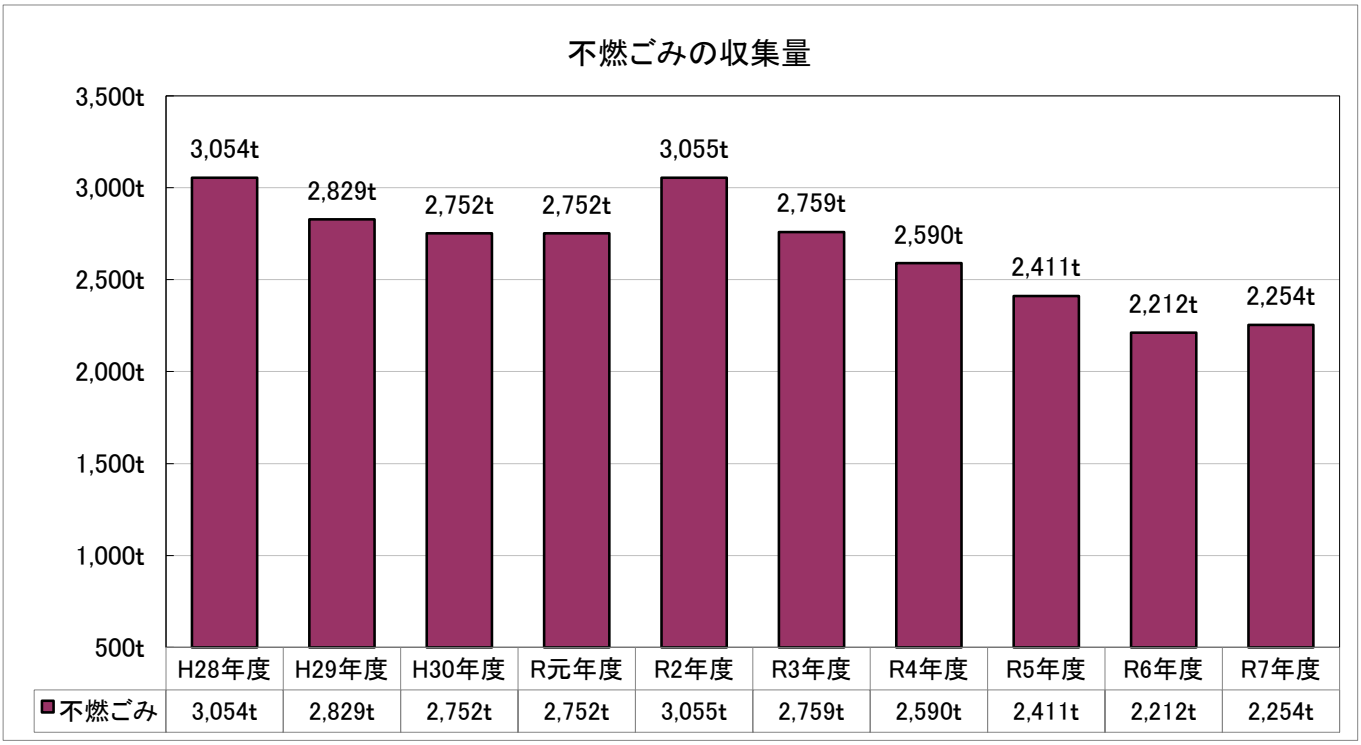
	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
ごみ合計量	96,631t	96,703t	96,756t	97,749t	100,664t	97,676t	94,111t	90,362t	89,161t	88,713t
粗大ごみ	3,559t	3,606t	3,575t	3,739t	3,773t	3,814t	3,661t	3,601t	3,500t	3,636t
不燃ごみ	3,054t	2,829t	2,752t	2,752t	3,055t	2,759t	2,590t	2,411t	2,212t	2,254t
可燃ごみ	90,018t	90,268t	90,429t	91,258t	93,836t	91,103t	87,860t	84,350t	83,449t	82,823t

可燃ごみ収集量



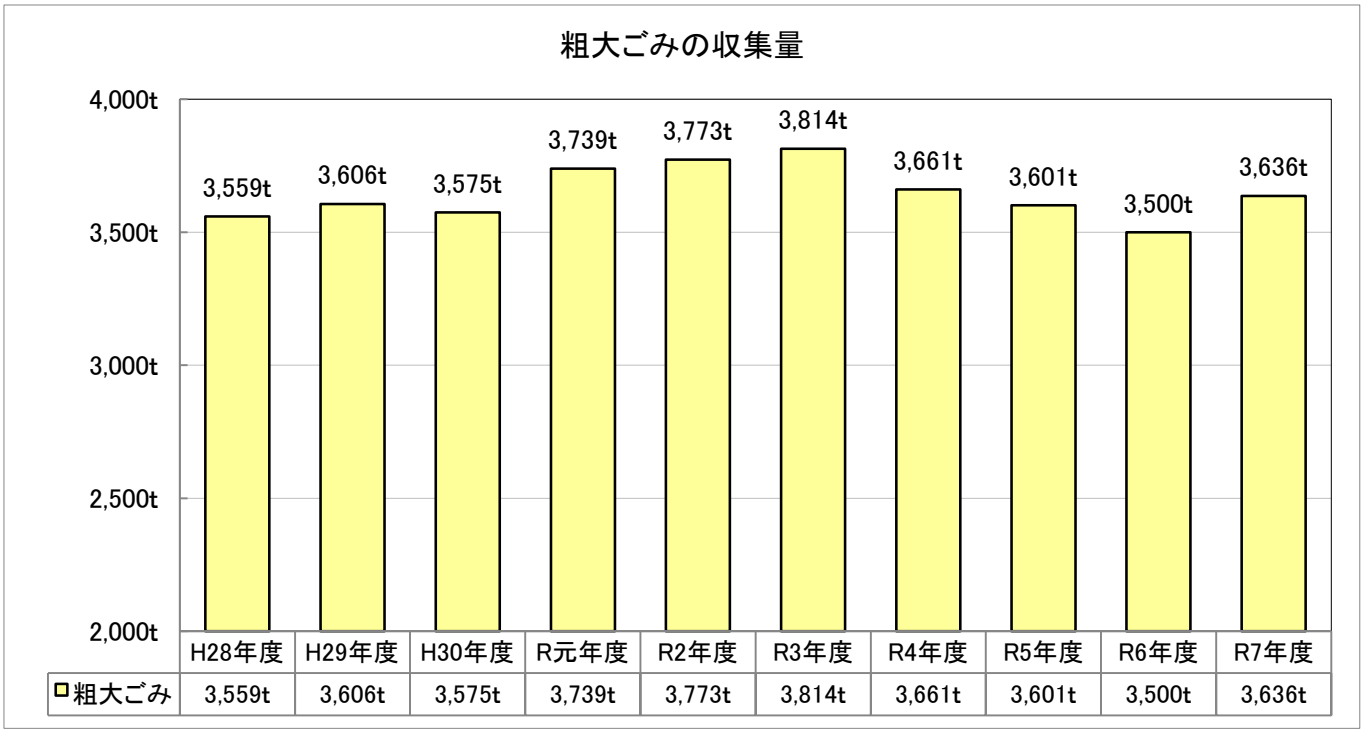
	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
可燃ごみ	90,018t	90,268t	90,429t	91,258t	93,836t	91,103t	87,860t	84,350t	83,449t	82,823t

▶不燃ごみ収集量



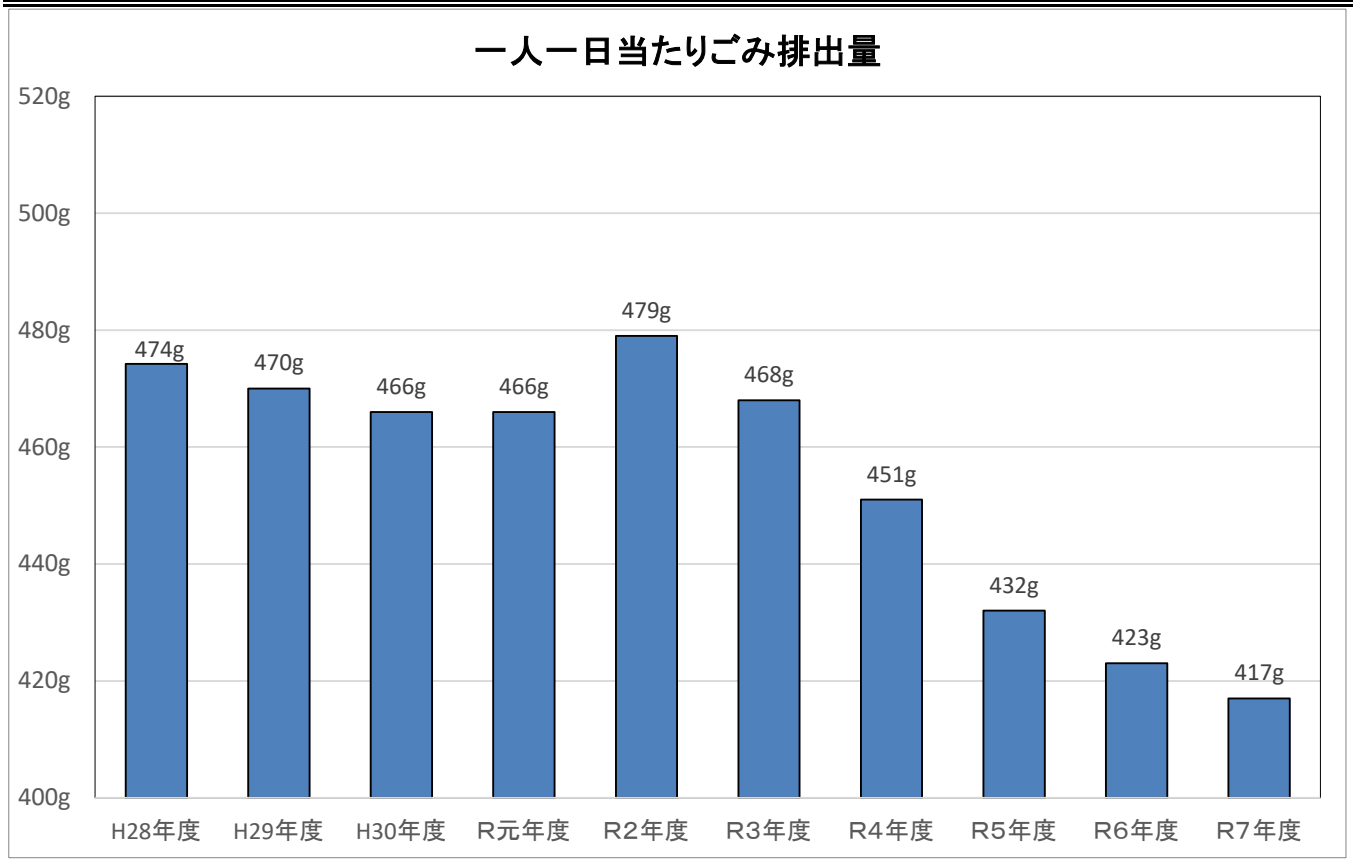
平成26年度から有用金属の再資源化を一部地域で開始、平成29年10月より区内全域に拡大しさらなる減量、再資源化に取り組んでいます。

▶粗大ごみ収集量



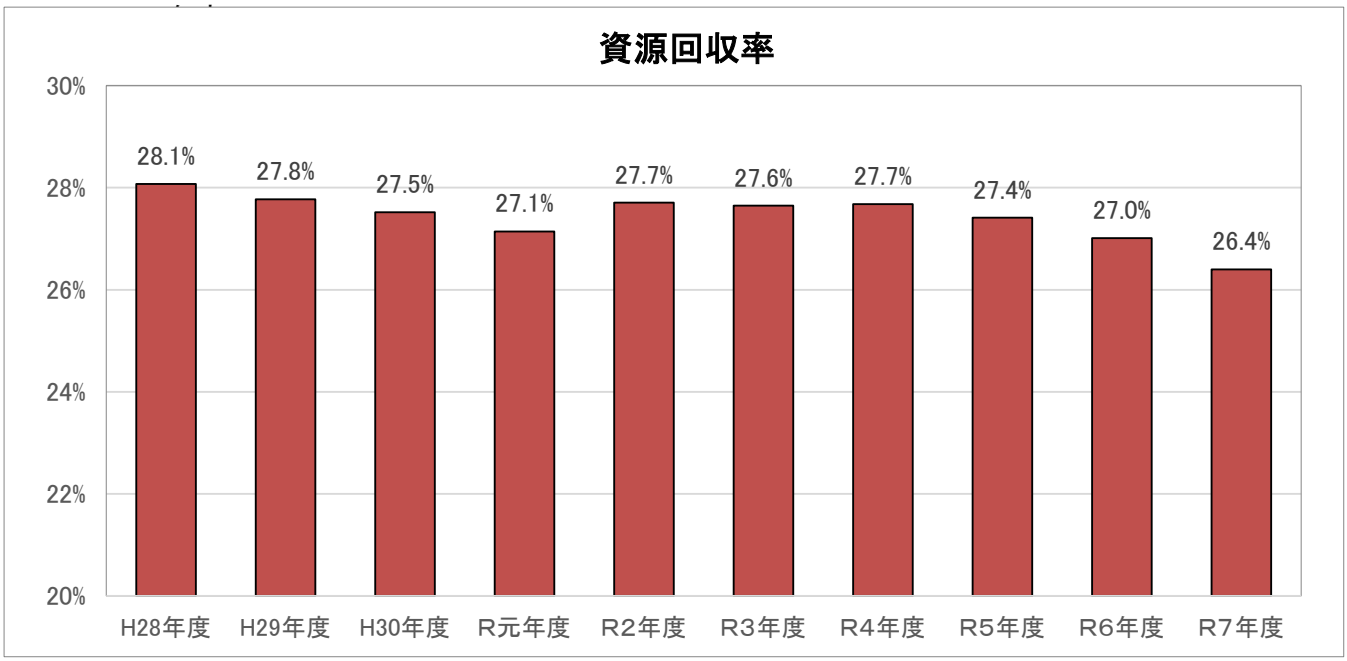
平成25年度から粗大ごみ金属部分の再資源化を開始したことにより減少しましたが、令和元年度から令和3年度については、コロナ禍による影響もありました。

3. 区民一人1日あたりのごみ排出量・資源回収率

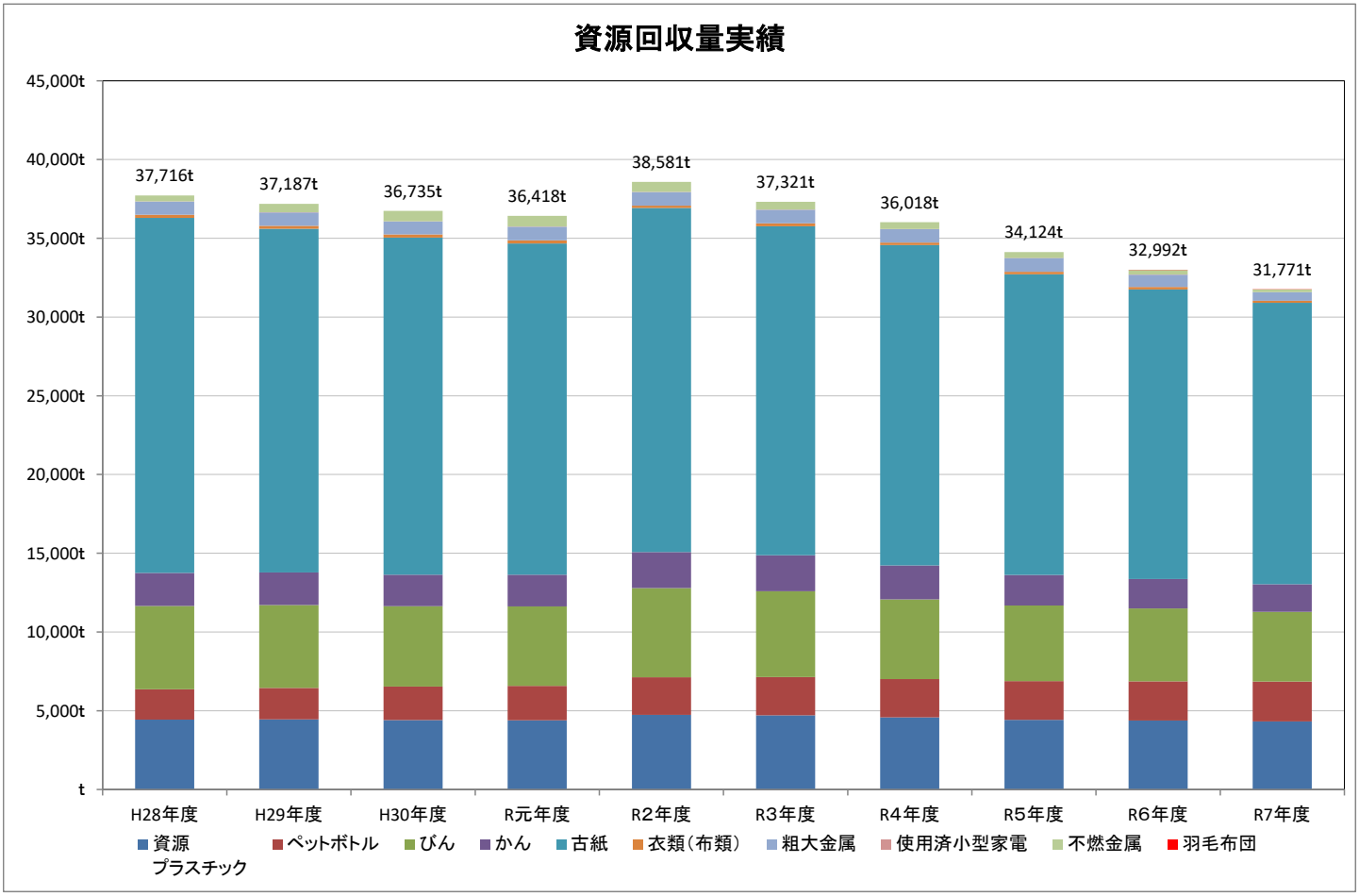


※ 一人1日あたりごみ排出量=年間ごみ量（可燃ごみ・不燃ごみ・粗大ごみ）÷人口（各年度10月１日時点）÷365日で算出。

令和４年５月に「杉並区一般廃棄物処理基本計画（令和４～12年度）」を策定しました。
計画では、令和12年度（最終目標年度）一人1日あたりのごみ量を410グラムと数値目標を定めています。



4. 資源回収量実績＜年間＞



	資源プラスチック	ペットボトル	びん	かん	古紙	衣類（布類）	粗大金属	使用済小型家電	不燃金属	羽毛布団	合計
H28年度	4,443t	1,916t	5,294t	2,097t	22,552t	196t	831t	10t	377t	－	37,716t
H29年度	4,450t	2,003t	5,258t	2,065t	21,832t	191t	845t	13t	530t	－	37,187t
H30年度	4,405t	2,134t	5,107t	1,986t	21,414t	199t	826t	15t	649t	－	36,735t
R元年度	4,397t	2,184t	5,037t	2,025t	21,034t	201t	860t	15t	667t	－	36,418t
R2年度	4,734t	2,388t	5,668t	2,289t	21,843t	145t	871t	13t	629t	－	38,581t
R3年度	4,713t	2,426t	5,443t	2,290t	20,890t	182t	866t	13t	497t	－	37,321t
R4年度	4,578t	2,433t	5,063t	2,157t	20,343t	161t	845t	12t	427t	－	36,018t
R5年度	4,418t	2,469t	4,801t	1,930t	19,097t	164t	865t	11t	369t	－	34,124t
R6年度	4,372t	2,500t	4,620t	1,867t	18,392t	163t	772t	10t	295t	2t	32,992t
R7年度	4,327t	2,523t	4,423t	1,755t	17,872t	138t	542t	10t	177t	3t	31,771t

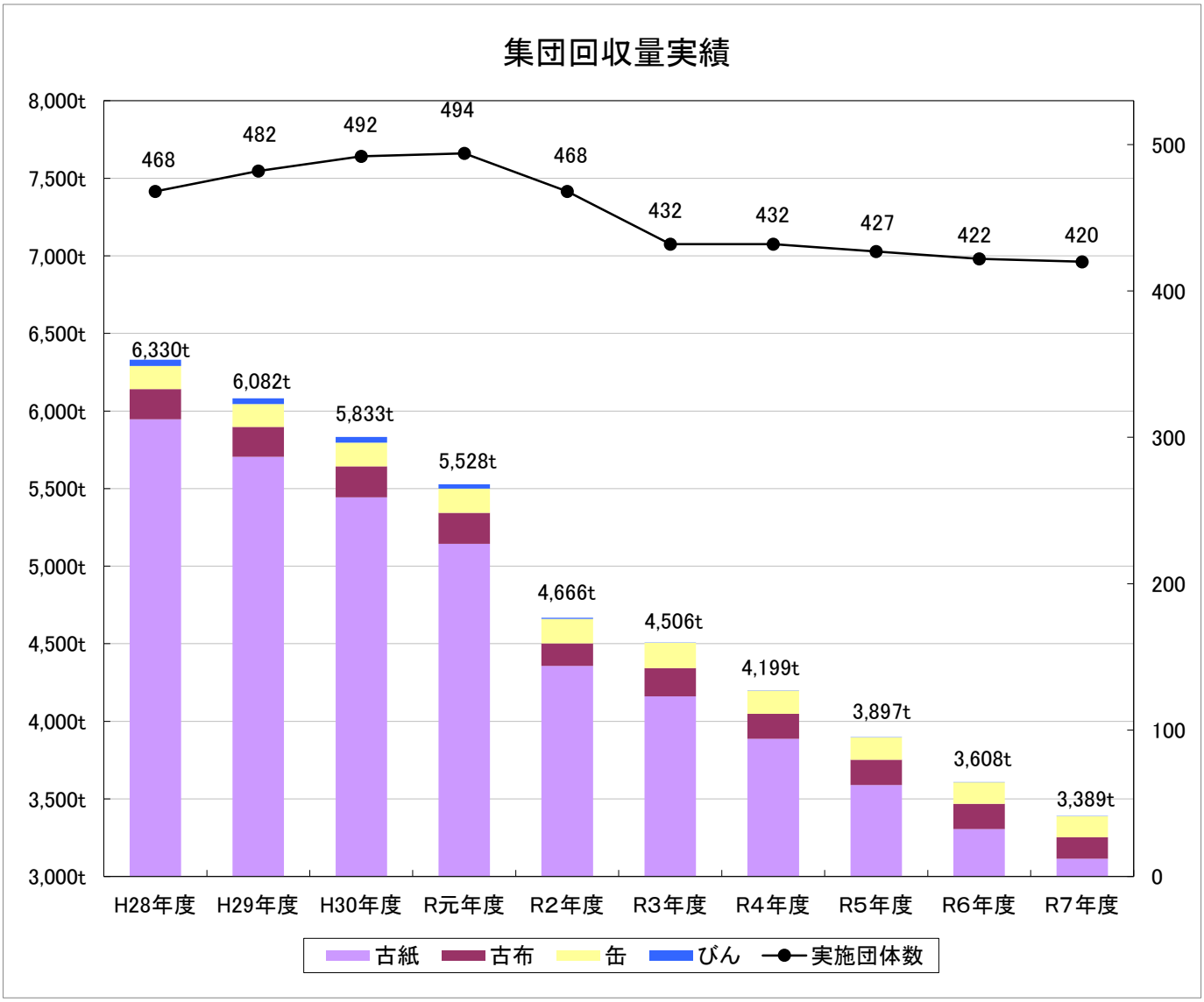
※　上記回収量は、集積所回収・拠点回収・ピックアップ回収・集団回収の合計。
※　端数処理のため合計があわない場合がある。
※　羽毛布団は令和5年10月より試行実施のため、R5年度合計量に算定せず、本格実施のR6年度から合計量に算定。
※　プラスチック製容器包装には、令和6年10月から一部モデル地域にて分別回収を開始したプラスチック使用製品廃棄物も含む。

※参考：売却額（円）

	粗大金属	使用済小型家電	不燃金属	羽毛布団	合計
H28年度	6,978,259	340,034	3,127,619	－	10,445,912
H29年度	12,437,650	554,297	8,090,094	－	21,082,041
H30年度	5,972,747	639,738	5,540,726	－	12,153,211
R元年度	604,750	466,090	612,572	－	1,683,412
R2年度	0	119,510	0	－	119,510
R3年度	0	143,834	0	－	143,834
R4年度	4645190	180,299	2350755	－	7,176,244
R5年度	4,760,195	657,895	2,032,085	813,868t	7,450,175
R6年度	4,246,110	1,143,258	1,622,280	2,679,542	7,011,648
R7年度	2,982,705	1,213,357	973,995	6,350,400	11,520,457

※R2、3年度は、粗大、不燃金属は歳出のため除外

5. 集団回収量実績＜年間＞



	古紙	古布	缶	びん	合計	実施団体数
H28年度	5,946t	196t	149t	40t	6,330t	468
H29年度	5,705t	191t	148t	37t	6,082t	482
H30年度	5,444t	199t	153t	36t	5,833t	492
R元年度	5,144t	201t	155t	28t	5,528t	494
R2年度	4,357t	145t	158t	6t	4,666t	468
R3年度	4,161t	182t	161t	1t	4,506t	432
R4年度	3,887t	161t	149t	1t	4,199t	432
R5年度	3,589t	164t	143t	1t	3,897t	427
R6年度	3,306t	163t	138t	1t	3,608t	422
R7年度	3,114t	138t	136t	1t	3,389t	420

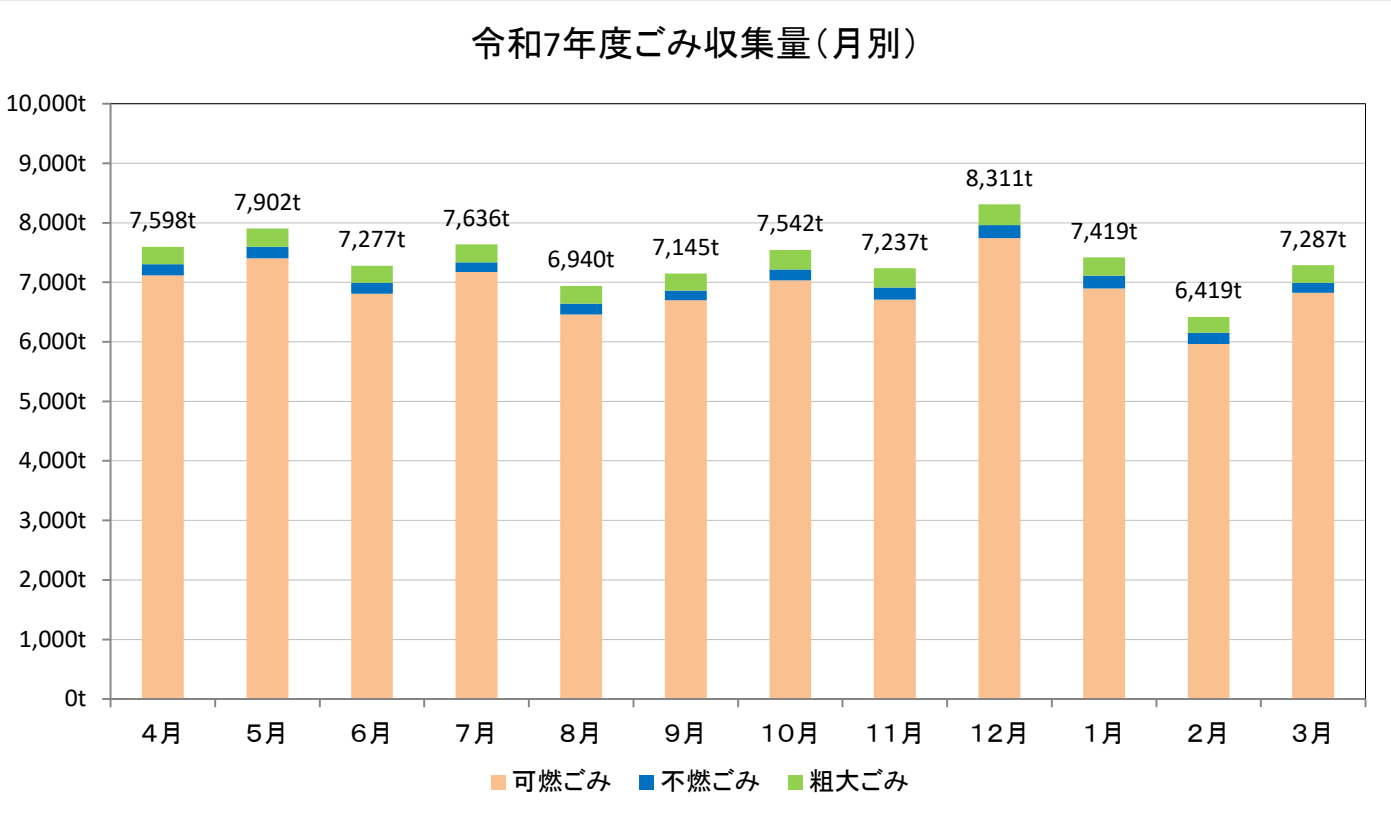
※　端数処理のため合計があわない場合がある。

6. ごみ収集量・資源回収量実績＜前年度比較＞

区分	種別	令和7年度					
		合計	前年度比	行政回収	前年度比	集団回収	前年度比
ごみ	可燃	82,823t	99.2%	82,823t	99.2%	−	−
	不燃	2,254t	101.9%	2,254t	101.9%	−	−
	粗大	3,636t	103.9%	3,636t	103.9%	−	−
	計	88,713t	99.5%	88,713t	99.5%	−	−
資源	プラスチック製容器包装	4,327t	99.0%	4,327t	99.0%	−	−
	ペットボトル	2,523t	100.9%	2,523t	100.9%	−	−
	古紙	17,872t	97.2%	14,758t	97.8%	3,114t	94.2%
	びん	4,423t	95.7%	4,422t	95.8%	1t	76.9%
	かん	1,755t	94.0%	1,619t	93.6%	136t	98.6%
	衣類（布類）	138t	85.0%	−	−	138t	84.7%
	粗大金属	542t	70.2%	542t	70.2%	−	−
	使用済小型家電	10t	99.4%	10t	99.4%	−	−
	不燃金属	177t	60.0%	177t	60.0%	−	−
	羽毛布団	3t	−	3t	−	−	−
	計	31,771t	96.3%	28,382t	96.6%	3,389t	93.9%
合計		120,483t	98.6%	117,094t	98.8%	3,389t	93.9%

※ 端数処理のため合計があわない場合がある。
※ 小型家電の拠点回収は平成25年10月21日から開始。回収品目は、携帯電話、携帯音楽プレーヤー、携帯ゲーム機、デジタルカメラ、電子辞書、ACアダプター等コード類、ポータブルビデオカメラ、ポータブルカーナビ、卓上計算機、電話機、ファクシミリ、ラジオ受信機、ヘアードライヤー、電気かみそり、炊飯器の15品目。ただし、最大辺が30センチメートルを超えるものは回収品目であっても回収しない。
※羽毛布団の資源化を本格実施したR6年度から合計量に算定。
※ プラスチック製容器包装には、令和6年10月から一部モデル地域にて分別回収を開始したプラスチック使用製品廃棄物も含む。

7. 令和7年度　ごみ収集量実績＜月別＞

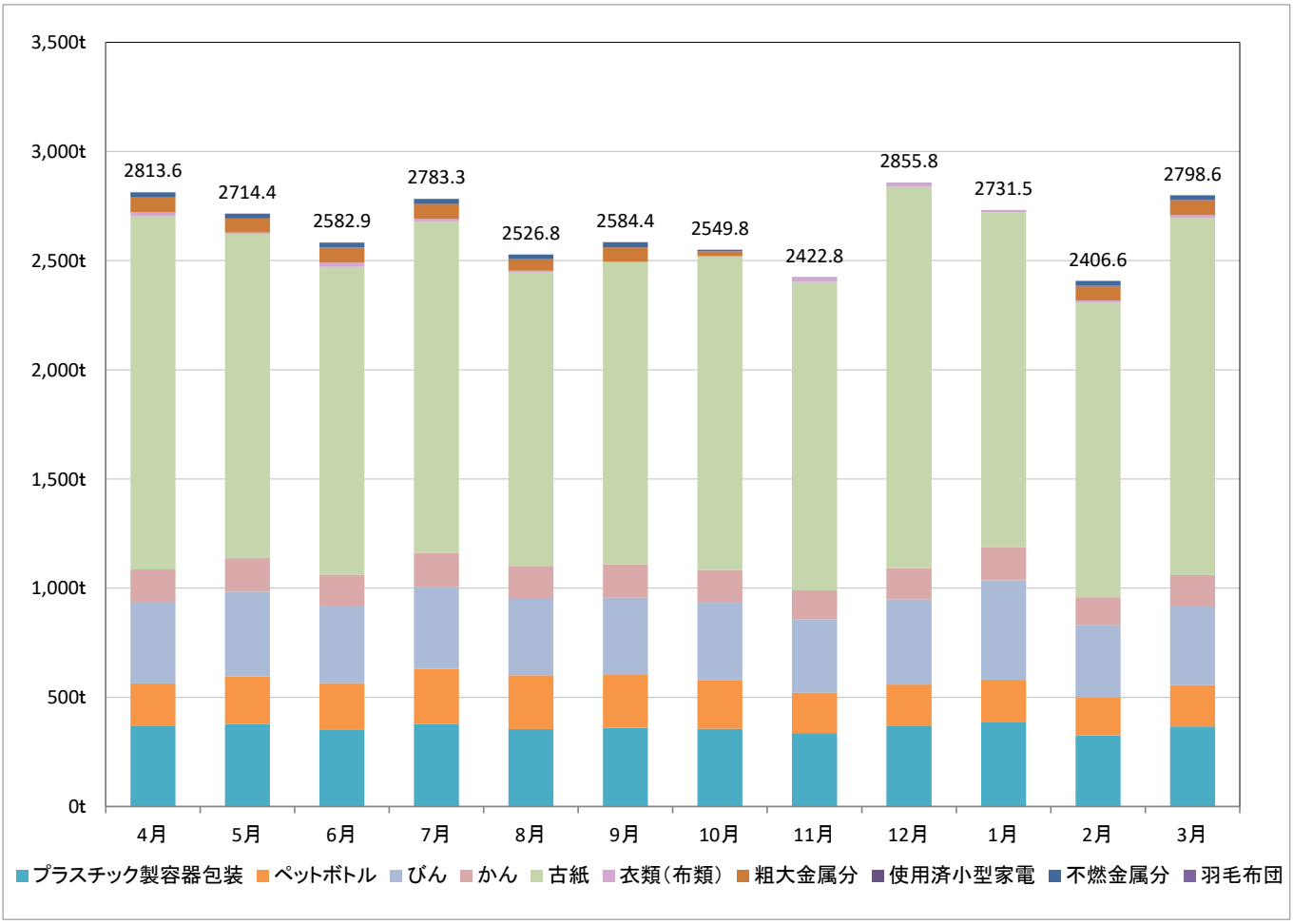


R7年度	ごみ合計	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ
4月	7,598t	7,116t	189t	293t
5月	7,902t	7,403t	194t	306t
6月	7,277t	6,810t	182t	286t
7月	7,636t	7,173t	164t	299t
8月	6,940t	6,457t	184t	299t
9月	7,145t	6,699t	162t	283t
10月	7,542t	7,034t	182t	326t
11月	7,237t	6,710t	203t	324t
12月	8,311t	7,740t	221t	349t
1月	7,419t	6,896t	215t	307t
2月	6,419t	5,964t	187t	268t
3月	7,287t	6,822t	170t	295t
年間計	88,713t	82,823t	2,254t	3,636t

※　端数処理のため合計があわない場合がある。

8. 令和7年度　資源回収量実績＜月別＞

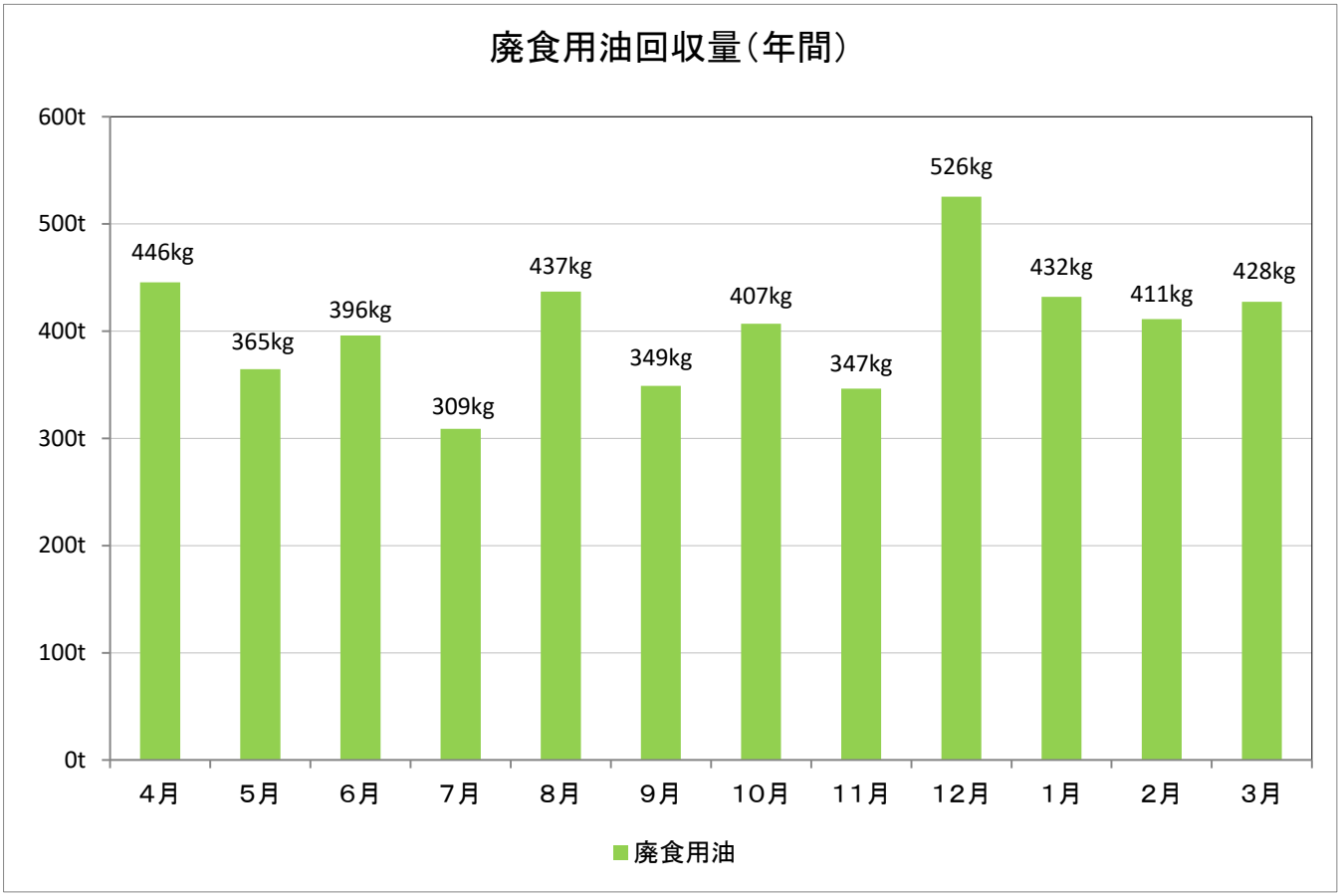
資源合計　回収量実績



R7年度	プラスチック製容器包装	ペットボトル	びん	かん	古紙	衣類（布類）	粗大金属分	使用済小型家電	不燃金属分	羽毛布団	合計
4月	367.4t	197.3t	372.7t	149.0t	1,617.0t	17.7t	67.5t	1.0t	23.9t	0.2t	2,813.6t
5月	378.6t	216.8t	388.6t	154.8t	1,483.4t	6.6t	64.4t	0.6t	20.4t	0.3t	2,714.4t
6月	350.5t	214.7t	351.2t	145.0t	1,409.7t	20.2t	68.3t	1.1t	22.1t	0.2t	2,582.9t
7月	378.1t	251.8t	373.9t	156.8t	1,519.1t	11.7t	69.0t	0.4t	22.1t	0.3t	2,783.3t
8月	354.9t	246.3t	354.1t	147.3t	1,343.7t	7.8t	53.1t	0.9t	18.6t	0.2t	2,526.8t
9月	360.3t	242.1t	354.0t	152.4t	1,383.1t	3.5t	65.6t	0.8t	22.5t	0.1t	2,584.4t
10月	356.5t	220.4t	355.9t	150.4t	1,435.2t	4.3t	19.2t	0.9t	6.8t	0.2t	2,549.8t
11月	336.2t	185.1t	335.5t	132.7t	1,412.2t	20.2t	0.0t	0.6t	0.0t	0.3t	2,422.8t
12月	367.9t	190.6t	389.8t	143.8t	1,746.0t	16.3t	0.0t	1.3t	0.0t	0.2t	2,855.8t
1月	384.7t	195.7t	456.0t	149.9t	1,535.0t	10.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.2t	2,731.5t
2月	325.6t	172.4t	332.2t	128.3t	1,350.1t	8.9t	66.6t	1.1t	21.3t	0.2t	2,406.6t
3月	366.4t	190.1t	359.5t	144.3t	1,637.2t	11.2t	68.7t	1.7t	19.5t	0.1t	2,798.6t
年間合計	4,327.1t	2,523.3t	4,423.2t	1,754.7t	17,871.6t	138.2t	542.3t	10.4t	177.1t	2.5t	31,770.5t
（集積所回収）	4,327.1t	2,523.3t	4,422.3t	1,618.8t	14,757.9t	ー	ー	ー	ー	ー	27,649.4t
（その他）	ー	ー	ー	ー	ー	ー	542.3t	10.4t	177.1t	2.5t	732.3t
（集団回収）	ー	ー	1.0t	135.9t	3,113.7t	138.2t	ー	ー	ー	ー	3,388.8t

※　端数処理のため合計があわない場合がある。
※　不燃金属分は平成29年10月より100%選別回収へ拡大。
※　粗大金属分・使用済小型家電・不燃金属分の回収量は売却量とする。

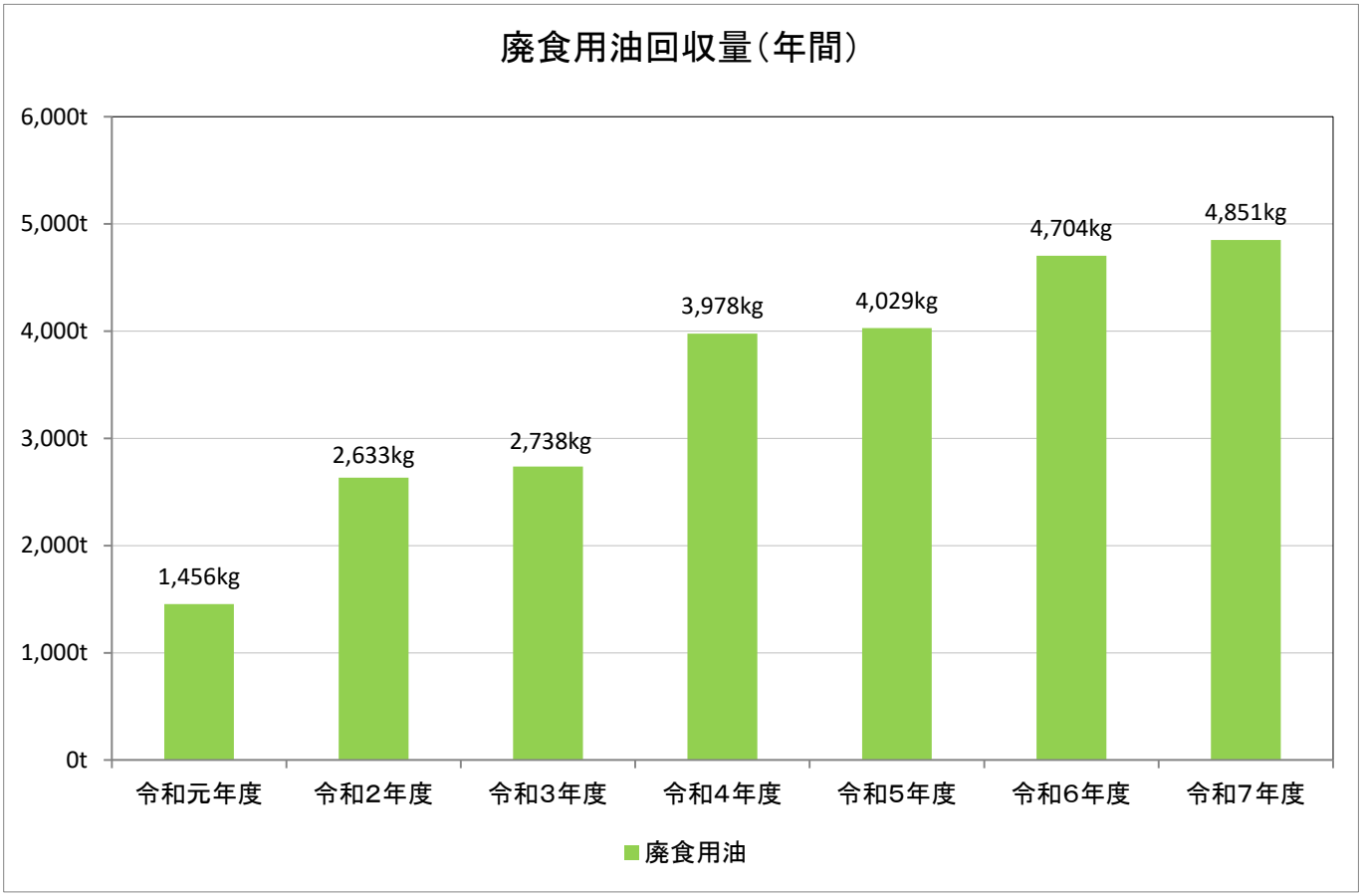
９．廃食用油回収実績＜月別＞



R7年度	廃食用油
4月	446kg
5月	365kg
6月	396kg
7月	309kg
8月	437kg
9月	349kg
10月	407kg
11月	347kg
12月	526kg
1月	432kg
2月	411kg
3月	428kg
年間計	4,851t

※　端数処理のため合計があわない場合がある。

10. 廃食用油回収実績<年間>



年度	廃食用油
令和元年度	1,456kg
令和2年度	2,633kg
令和3年度	2,738kg
令和4年度	3,978kg
令和5年度	4,029kg
令和6年度	4,704kg
令和7年度	4,851kg
合計	24,388kg

※　端数処理のため合計があわない場合がある。

11. ごみの組成

令和6年度に実施した「家庭ごみ排出状況調査」の結果をお知らせします。

1 調査概要

(1) 調査目的

杉並区は、一般廃棄物処理基本計画により、区の基本目標やごみ減量の数値目標を定めている。本調査では、家庭から排出されるごみ量及び性状等の調査を行い、今後のごみ減量・リサイクル施策推進のための基礎資料とする。

また区では、従来より資源として回収しているプラスチック製容器包装に加え、全てがプラスチックでできた製品の分別回収を資源プラスチック回収とし、令和8年度から区内全域で実施する予定である。この新たな分別回収に向け、令和6年10月から松庵2丁目及び大宮1・2丁目で資源プラスチックのモデル回収を実施し、その調査を「プラスチックモデル調査」とする。

(2) 調査内容

●可燃ごみ・不燃ごみ

期間は令和6年11月14日から11月27日までの2週間、調査対象地域は8地域（松庵2丁目、宮前3丁目、下井草3・4丁目、上荻1丁目、大宮1・2丁目、和泉3丁目、方南2丁目、高円寺南3丁目）、集積所数は100か所程度。調査地域は戸建て住宅形態を3地域、大中規模集合住宅形態を2地域、住宅商業混在住宅形態を3地域、単身者向け集合住宅形態を3地域とし、それぞれを1か所に集めて、中身を開けて調査をする「家庭ごみ排出状況調査」を行った。（排出者個人の特定はされない。）

●資源プラスチック

期間は令和6年7月26日・31日のプレ調査2日間と、11月15日～27日の本調査4日間に実施した。対象地域はモデル地区の2地域（松庵2丁目、大宮1・2丁目）。各回、約100kgのプラスチック類を集めて確認する「プラスチックモデル調査」を行った。（排出者個人の特定はされない。）

(3) 調査項目

ア 組成分析調査（可燃ごみ・不燃ごみ）
イ 食品ロス調査
ウ 電池使用製品調査
エ プラスチックモデル調査

2 組成分析調査結果

調査結果はP14からP16に記載している。

3 食品ロス調査結果

可燃ごみのサンプルのうち、生ごみ(食品廃棄物)を「直接廃棄(手付かず食品)」「食べ残し」「過剰除去等」「調理くず」に分類し、「直接廃棄」と「食べ残し」を食品ロスとして集計した。さらに直接廃棄については、「直接廃棄(100%残存)」「直接廃棄(50%以上残存)」「直接廃棄(10%以上残存)」に分類し調査を行った。

可燃ごみ中の生ごみの割合は約29%ともっとも高く、直接廃棄における残存量別の割合は「100%」が60%以上と高い数値を占める結果となった。

4 電池使用製品調査

可燃ごみと不燃ごみのサンプルのうち、小型家電を対象に充電式電池及び一次電池使用の有無、また、排出時における電池取外しの有無について集計した。小型家電のうち電池を使用している製品は約49%、うち充電式電池使用製品では「取外し不可」が約69%を占め、一次電池使用製品では「取外し未」が多く約49%を占めた。

5 プラスチックモデル調査

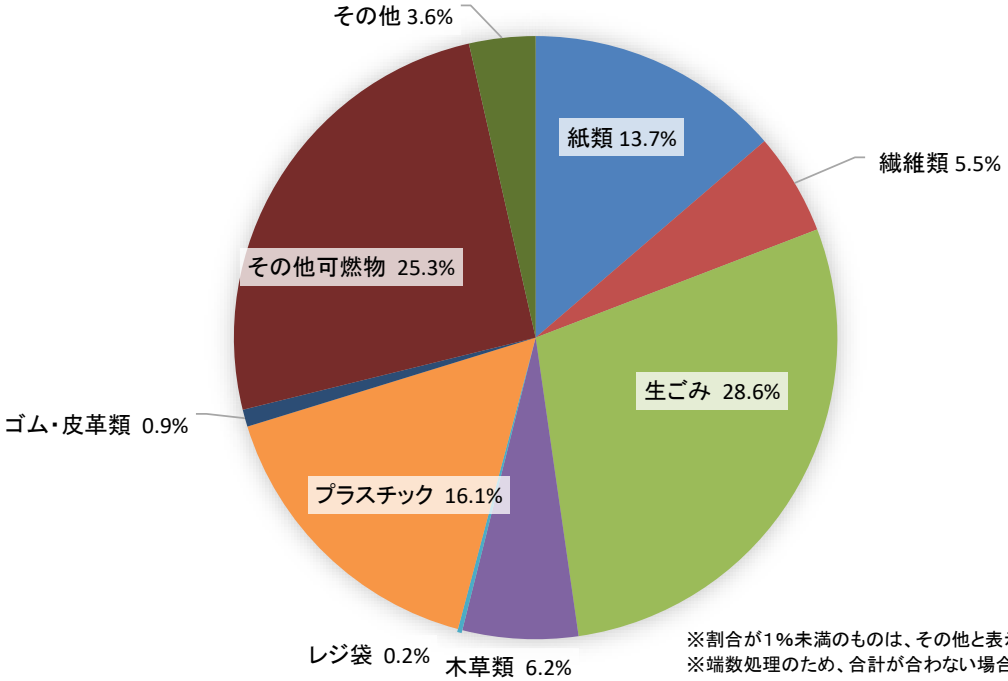
本調査の結果、プラスチック製容器包装が約87%を占め、うちリサイクル可能なものは約84%だった。排出割合をプレ調査と比較すると、「プラスチック製容器包装　リサイクル可（発泡トレイ以外）」が約6%、「製品プラスチック　全てプラスチックのもの（汚れなし）」が約4%増加した。

区内全体の組成割合

区分	大分類	中分類	小分類	区内全体推計		区分
				可燃ごみ	不燃ごみ	
可燃	紙類	新聞、折り込みチラシ（リサイクル可）		0.63%	0.46%	資源物
		雑誌・書籍、パンフレット（リサイクル可）		1.02%	0.06%	
		段ボール		0.68%	0.05%	
		紙パック（内側にｱﾙﾐｺｰﾃｨﾝｸﾞされていないもの）		0.47%	0.04%	
		容器包装	リサイクル可	3.99%	0.42%	
			リサイクル不可	2.58%	0.04%	可燃物
		その他紙類	リサイクル可	3.37%	0.10%	資源物
			リサイクル不可	0.99%	0.16%	可燃物
	繊維類			5.45%	0.07%	
	生ごみ	可食部	直接廃棄（100%残存）	3.78%	0.13%	
			直接廃棄（50%以上残存）	1.11%	－	
			直接廃棄（10%以上残存）	0.40%	0.13%	
			食べ残し（調理された又は生のまま食卓に出たもの）	4.42%	－	
		不可食部	過剰除去等	1.87%	－	
			調理くず	16.98%	－	
	木草類			6.18%	0.09%	
	ごみ袋(外袋)			0.93%	1.03%	ごみ排出袋
	ペットボトル			0.24%	－	資源物
	プラスチック	容器包装	発泡トレイ	0.19%	－	
			リサイクル可(発泡トレイ以外)	2.75%	0.19%	
			リサイクル不可	8.98%	0.38%	可燃物
		製品	全てプラスチック（汚れなし）	1.57%	4.29%	
			全てプラスチック（汚れあり）	2.16%	0.65%	
			プラスチック以外を含むもの	0.42%	1.67%	
	ゴム・皮革			0.92%	1.12%	
	その他可燃物	紙おむつ（大人用）		2.27%	－	
		紙おむつ（子供用）		6.40%	－	
		その他可燃物（紙おむつを除く）		16.62%	0.86%	
不燃	びん	びん	リサイクル可	0.18%	1.98%	資源物
		その他のびん	リサイクル不可	0.02%	3.27%	不燃物
	かん	かん	リサイクル可	0.06%	0.40%	資源物
		その他のかん	リサイクル不可	－	2.15%	不燃物
	小型家電	15品目	携帯電話	－	－	
			携帯電話以外14品目	0.02%	5.03%	
		15品目以外		0.03%	8.49%	
	金属製品			0.29%	16.59%	
	電池	乾電池		0.02%	6.35%	
		ボタン型電池		－	0.06%	
		充電式電池		－	－	
		その他電池		－	0.06%	
	陶磁器類			0.04%	13.20%	
	ガラス類			0.06%	8.86%	
	スプレー缶等			0.05%	6.83%	
	蛍光管・蛍光灯・電球			0.01%	2.55%	
	その他不燃物			0.81%	11.43%	
処理困難物	処理困難物			0.52%	0.81%	処理困難物
	粗大ごみ			0.50%	－	
合計				100.00%	100.00%	－

区分	区内全体	
	可燃ごみ	不燃ごみ
可燃物	83.10%	8.35%
不燃物	1.35%	85.82%
資源物	13.58%	3.63%
処理困難物	1.03%	1.13%
ごみ排出袋	0.93%	1.07%
合計	100.00%	100.00%
分別協力率【可（不）燃ごみ／（合計－ごみ排出袋）】	83.89%	86.75%

令和6年度　可燃ごみ組成調査結果(区内全体推計)

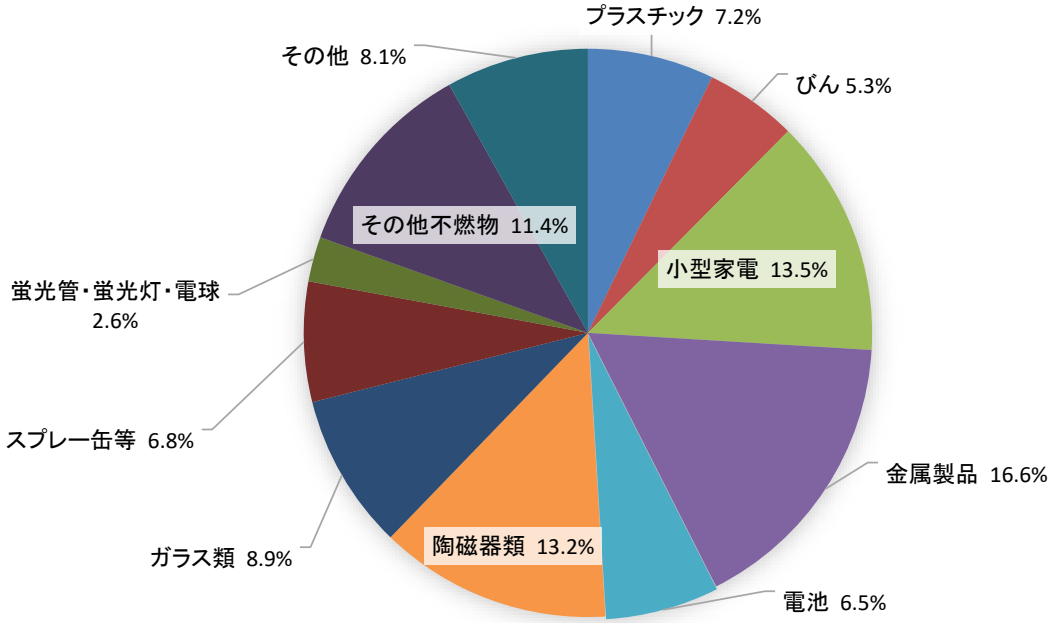


※割合が1%未満のものは、その他と表示してある。
※端数処理のため、合計が合わない場合がある。

大分類	R3年度	R5年度	R6年度
紙類	16.74%	13.96%	13.70%
繊維類	3.99%	5.81%	5.45%
生ごみ	33.80%	30.86%	28.55%
木草類	4.60%	8.23%	6.18%
ごみ袋	0.72%	1.23%	0.93%
ペットボトル	0.24%	0.22%	0.24%
レジ袋	1.10%		
プラスチック	15.01%	13.27%	16.08% ※
ゴム・皮革類	1.77%	0.85%	0.92%
その他可燃物	19.92%	23.12%	25.28%
びん	0.08%	0.18%	0.20%
かん	0.06%	0.05%	0.06%
小型家電	0.40%	0.09%	0.05%
金属製品	0.28%	0.22%	0.29%
電池	0.00%	0.06%	0.02%
陶磁器類	0.03%	0.03%	0.04%
ガラス類	0.04%	0.00%	0.06%
スプレー缶等	0.03%	0.02%	0.05%
蛍光管・蛍光灯・電球	0.00%	0.01%	0.01%
その他不燃物	0.15%	0.63%	0.81%
その他処理困難物	1.04%	1.15%	1.03%
合計	100.00%	100.00%	100.00%

※R5年度、R6年度はごみとして排出されたレジ袋含む

令和6年度　不燃ごみ組成調査結果(区内全体推計)

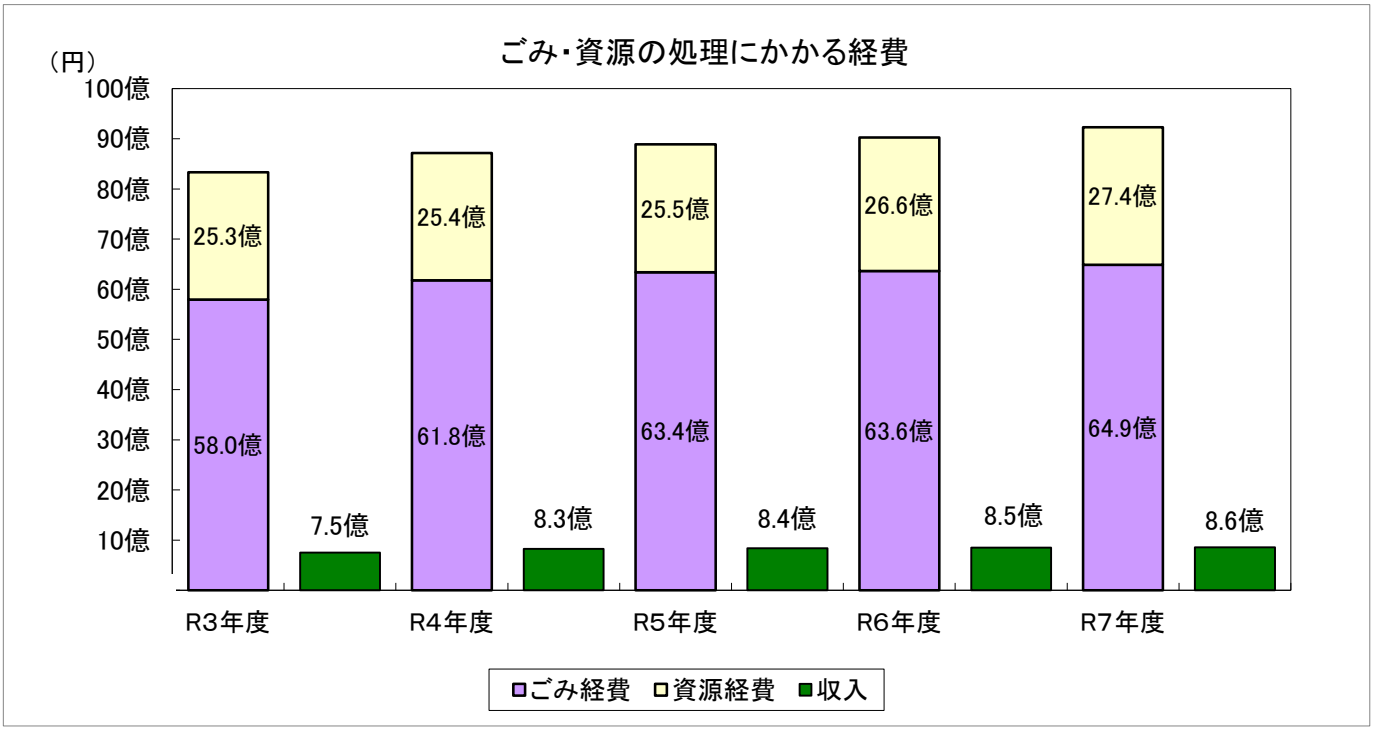


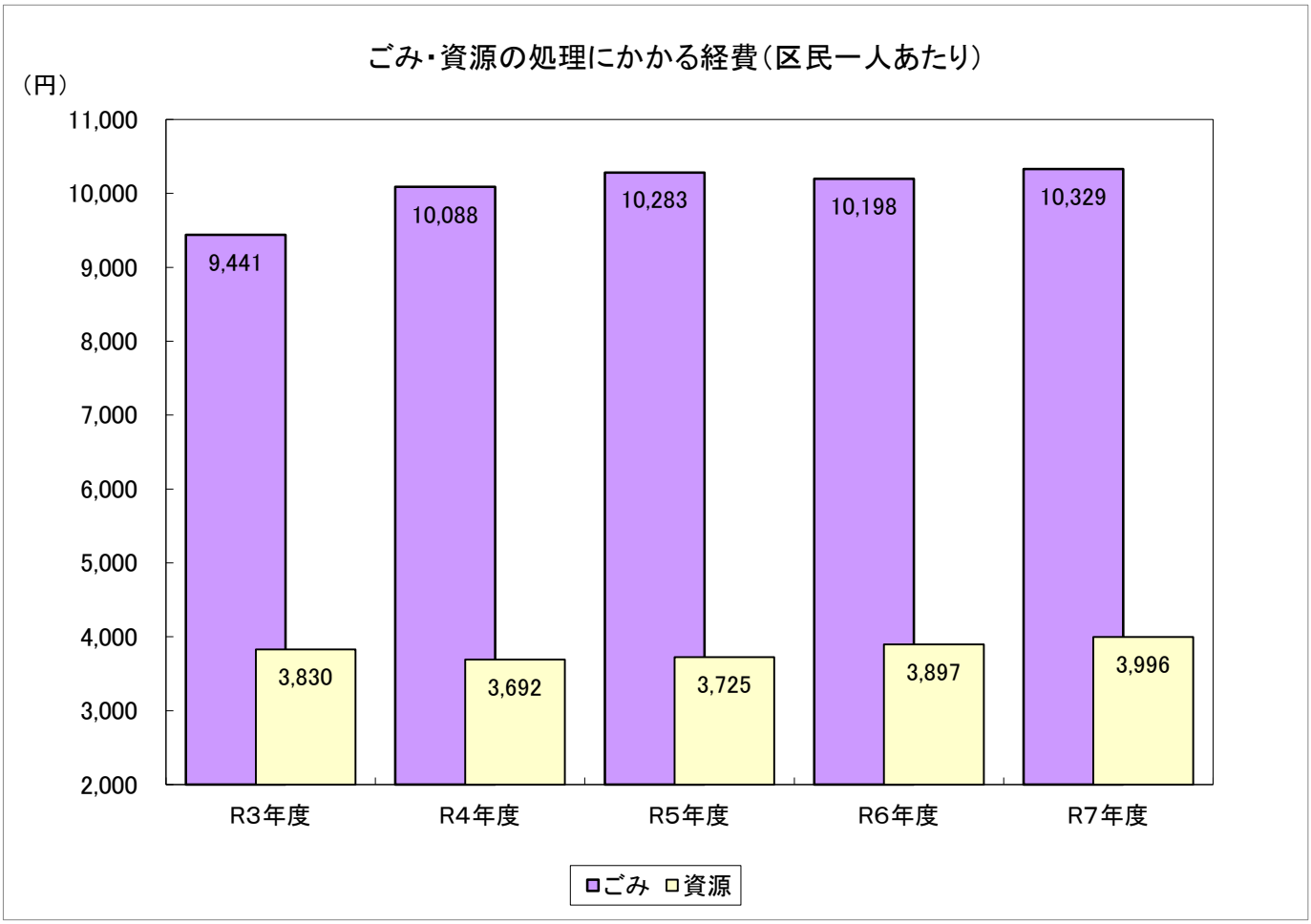
※割合が1%未満のものは、その他と表示してあります

大分類	R3年度	R5年度	R6年度
紙類	0.59%	1.62%	1.32%
繊維類	−	0.11%	0.07%
生ごみ	−	0.69%	0.26%
木草類	−	0.08%	0.09%
ごみ袋	0.17%	0.59%	1.03%
ペットボトル	−	−	0.00%
レジ袋	10.04%		
プラスチック	13.95%	4.49%	7.19% ※
ゴム・皮革類	1.82%	0.13%	1.12%
その他可燃物	0.43%	2.12%	0.86%
びん	3.60%	4.06%	5.25%
かん	0.87%	1.29%	2.55%
小型家電	25.81%	21.67%	13.52%
金属製品	16.40%	12.36%	16.59%
電池	2.96%	6.94%	6.47%
陶磁器類	10.92%	11.50%	13.20%
ガラス類	2.78%	6.67%	8.86%
スプレー缶等	3.28%	2.98%	6.83%
蛍光管・蛍光灯・電球	1.58%	1.11%	2.55%
その他不燃物	4.33%	21.57%	11.43%
その他処理困難物	9.47%	0.02%	0.81%
合計	109.00%	100.00%	100.00%

※R5年度、R6年度はごみとして排出されたレジ袋含む

12. ごみ・資源の処理にかかる経費





13. 杉並区の清掃事業の歴史

年	月	杉並区の動き	月	国・東京都・東京二十三区清掃一部事務組合の動き
2008 年 （平成20年）	3 4	・「杉並区一般廃棄物処理基本計画」改定 ・廃プラスチックのサーマルリサイクルを区内全域で実施 ・プラスチック製容器包装・ペットボトルの集積所回収を区内全域で実施 ・不燃ごみを毎週から隔週収集に変更	3 6	・「第二次循環型社会形成推進基本計画」策定 ・「ごみ処理基本計画策定指針」改正
2009 年 （平成21年）	1 3 4	・不燃ごみを隔週から月2回収集に変更 ・杉並中継所操業終了 ・不燃ごみのうち、スプレー缶・カセットボンベ・ライターの分別収集開始	4	・「家電リサイクル法」改正（対象品目に液晶式・プラズマ式テレビ、衣類乾燥機を追加）
2010 年 （平成22年）			2	・東京二十三区清掃一部事務組合「一般廃棄物処理基本計画」改定
2011 年 （平成23年）	1 5	・化粧品びんを資源の「びん」として回収開始 ・仙台市清掃災害派遣（東日本大震災）	6	・「東京都廃棄物処理計画」改定
2012 年 （平成24年）	1 4	・杉並清掃工場建替え工事の開始につき搬入停止（～平成29年） ・水銀体温計・血圧計の拠点回収開始 ・インクカートリッジの拠点回収開始		
2013 年 （平成25年）	4 7 10	・粗大ごみから金属分等有価物回収及び資源化 ・「杉並区一般廃棄物処理基本計画」改定 ・小型家電15品目の拠点回収開始	4	・「小型家電リサイクル法」施行
2014 年 （平成26年）	2 4	・環境基本計画の改定 ・不燃ごみの選別、金属分の回収及び資源化を一部地域で開始 ・蛍光管の適正処理及び資源化		
2015 年 （平成27年）			2 3	・東京二十三区清掃一部事務組合「一般廃棄物処理基本計画」改定 ・ペットボトルの店頭回収を廃止し、集積所での回収に移行
2016 年 （平成28年）			3	・「東京都資源循環・廃棄物処理計画」策定
（平成29年） （平成29年）	4 4	R4年度 ・「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」東京2020組織委員会主催に参加 ・杉並清掃工場への搬入開始 ・粗大ごみの処理手数料改定 ・臨時ごみ、動物死体の処理手数料の改定 ・不燃ごみの選別、金属分の回収及び資源化を区内全域に拡大	6 6 10	・「東京都災害廃棄物処理計画」策定 ・「東京都災害廃棄物処理計画」策定 ・杉並清掃工場稼働 ・事業系有料ごみ処理券の料金の改定
2018 年 （平成30年）	4 7 12	・フードドライブの常設窓口の設置（4施設） ・「杉並区一般廃棄物処理基本計画」改定 ・食べのこし0（ゼロ）応援店事業開始		
2019 年 （令和元年）	4 6	・家庭から出る廃食用油の拠点回収を開始（5施設） ・フードドライブの常設窓口の拡充（累計10施設）	10	・食品ロスの削減の推進に関する法律施行
2020 年 （令和2年）	1 2 4 11 12	・「小型家電リサイクル法」の認定事業者とパソコンの宅配便による無料回収の協定を締結 ・小型充電式（二次）電池リサイクルボックスの設置（5施設） ・フードシェアリング事業者と食品ロス削減協定を締結 ・フードドライブの常設窓口の拡充（累計11施設） ・「杉並区災害廃棄物処理計画」策定	7	・容器包装リサイクル法関係省令改正（プラスチック製買い物袋〔レジ袋〕の有料化）
2021 年 （令和3年）	4 5	・フードドライブの常設窓口の拡充（累計12施設） ・第一生命保険株式会社と食品ロス削減協定を締結	2	・東京二十三区清掃一部事務組合「基本計画・実行計画」策定、「一般廃棄物処理基本計画」改定
2022 年 （令和4年）	4 5	・家庭から出る廃食用油の回収拠点の拡充（累計11施設） ・インクカートリッジ、小型充電式（二次）電池リサイクルボックスの回収拠点拡充（累計11施設） ・回収済みペットボトルの一部を資源循環型リサイクル（ボトルtoボトル）開始 ・「杉並区環境基本計画」策定 ・「杉並区一般廃棄物処理基本計画」策定	4	・「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」施行
2023 年 （令和5年）	8 10	・家庭から出る廃食用油の回収拠点の拡充（累計12施設） ・インクカートリッジ、小型充電式（二次）電池リサイクルボックスの回収拠点拡充（累計12施設） ・mottECO普及推進モデル事業開始 ・粗大ごみ処理手数料、臨時ごみ処理手数料改定 ・粗大ごみから羽毛布団を選別し再資源化（令和5年度は試行実施）	10	事業系有料ごみ処理券料金改定
2024 年 （令和6年）	4 10	・粗大ごみから羽毛布団を選別し再資源化する取り組みを実施 ・プラスチック使用製品廃棄物の分別回収モデル事業の実施（資源プラスチック）		
2025 年 （令和7年）	4 6	・ダウンジャケットを拠点回収し羽毛を資源化する取り組みを開始 ・事業者と衣類の回収、再利用、資源化に関する協定を締結し、区役所内に衣類の回収BOXを設置		
2026 年 （令和8年）	4	・プラスチック使用製品廃棄物の分別回収を区内全域で実施（資源プラスチック） ・小型充電式（二次）電池リサイクルボックスの回収拠点拡充（累計15施設） ・小型充電式（二次）電池を資源化する取り組みを開始 ・粗大ごみから自転車を選別し、再資源化する取り組みを実施		